

2020(令和2)年度  
学校評価アンケート 結果と考察

葛城市立新庄北小学校

## 1 学校評価の目的

学校評価とは、児童がより良い教育活動を享受できるように、学校が学校としての目標や取組等の達成状況を明らかにして、その結果をもとに学校運営の改善を図るために行うものです。保護者の方々や地域の方々から学校に寄せられる期待に応え、より信頼される学校づくりを進めていくためには、学校評価を適切に実施し、効果的な公表に努めることが必要となります。学校評価の実施を通して学校にかかわる多くの人と情報のやりとりがなされ、連携を図ることにより、開かれた学校が実現されます。このことから、学校評価の目的を次の3点に整理し、より一層の学校運営の改善と発展を目指します。

- ① 学校運営の改善・・・本校の教育活動その他の学校運営について、組織的・継続的な改善を図ること。
- ② 説明責任及び連携・・・学校評価の実施・結果の公表により、適切に説明責任を果たすとともに、保護者・地域住民の方々から理解と参画を得て、その連携協力による学校づくりを進めること。
- ③ 教育の質の保証・向上・・・市教育委員会が学校評価の結果に応じて、学校に対する支援や条件整備等の改善措置を講じることにより、教育水準の保証・向上を図ること。

児童・保護者・教職員の三者に共通の内容でアンケートを実施しました。それを児童・保護者・教職員別にグラフにしました。そこでまとめた結果について読み取れたこと、対策の方向についてまとめました。また、今年度は、質問内容に「めざす児童像」を入れ調査しました。

この学校評価アンケートが来年度の学校改善につながり、子どもたちの健やかな成長に、そして保護者・地域からの信頼に応える開かれた学校づくりに活用できるように全力を尽くしていきたいと考えています。

## 2 調査の対象

【学校関係者評価(回答者数)】

児童 254名 保護者 242名

【自己評価】

教職員 24名

## 3 調査の方法

質問紙による調査を実施

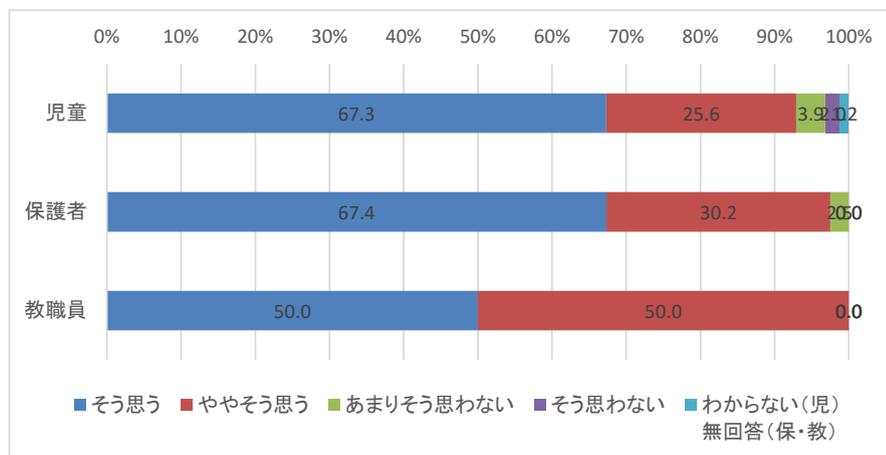
## 4 調査期間

2021(令和3)年1月14日～1月20日

## 5 調査結果と考察

### ①【学校生活について】

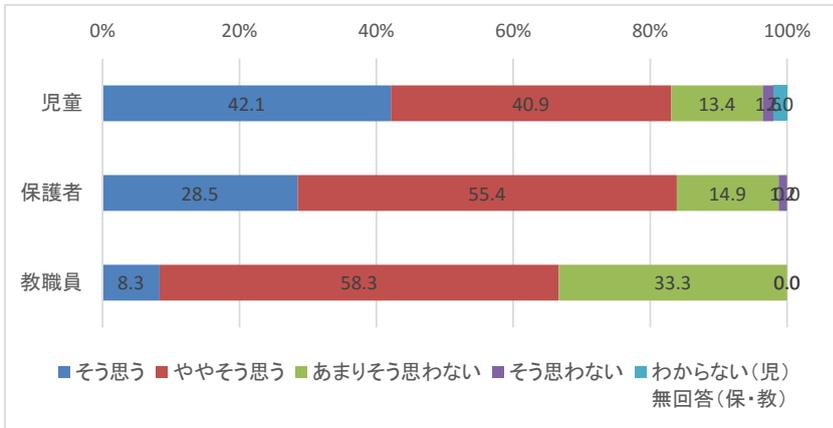
対象	質問事項
児童	学校は楽しいですか。
保護者	お子さんは、楽しく学校生活を送っていると思いますか。
教職員	児童は、楽しく学校生活を送っていると思いますか。



学校生活については、教職員の全て、児童・保護者のほとんどが肯定的な見方をしている。楽しさを感じられない児童に寄り添い、その原因を明らかにしながら、みんなが楽しいと思える学校づくりをすすめていきたい。

②【あいさつについて】

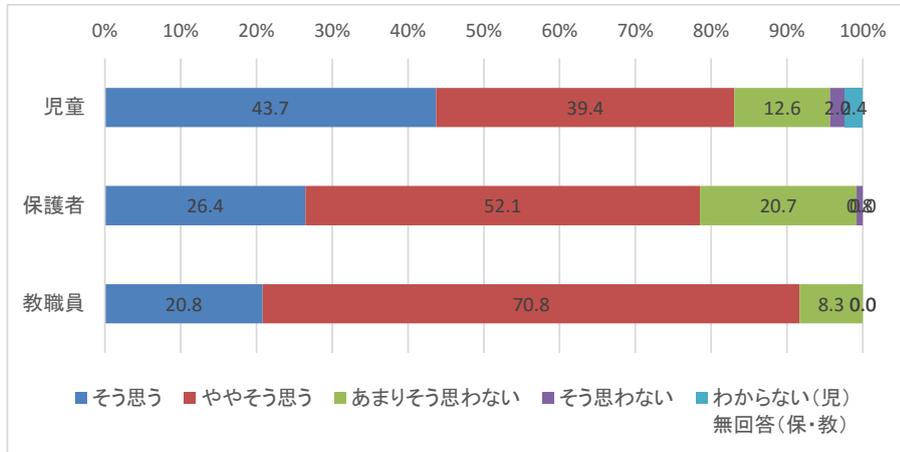
対象	質問事項
児童	あいさつや、えしゃくがしっかりできていますか。
保護者	お子さんは、あいさつの習慣が身についていると思いますか。
教職員	児童は、あいさつの習慣が身についていると思いますか。



教職員の30%以上が、「あまりそう思わない。」「もっと気持ちよくあいさつできるようにしていきたい。」ととらえている。児童・保護者においても15%程度が、否定寄りの思いを示していることから、気持ちのよいあいさつができるような指導の充実が求められる。

### ③【ねばり強さ】

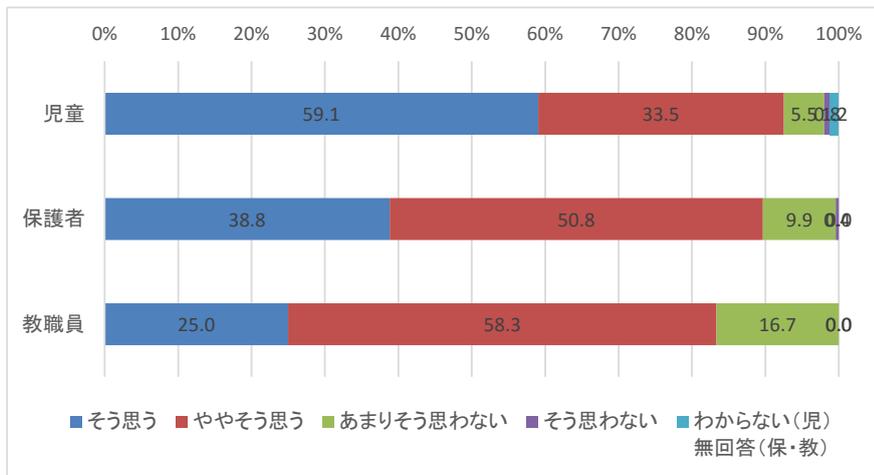
対象	質問事項
児童	目標にむかってねばり強く取り組んでいますか
保護者	お子さんは、自分で決めた目標にむかって、ねばり強く取り組むことができていると思いますか
教職員	児童は、自分で決めた目標にむかって、ねばり強く取り組むことができていると思いますか。



教職員ががんばっているのではないかと感じる一方で、児童自身、またその様子を見ているであろう保護者の否定的な見方がうかがえる結果となった。児童・保護者のもっとがんばりたい、がんばってほしいという気持ちをしっかり受け止め、指導にあたっていきたい。

#### ④【認め合い・協力】

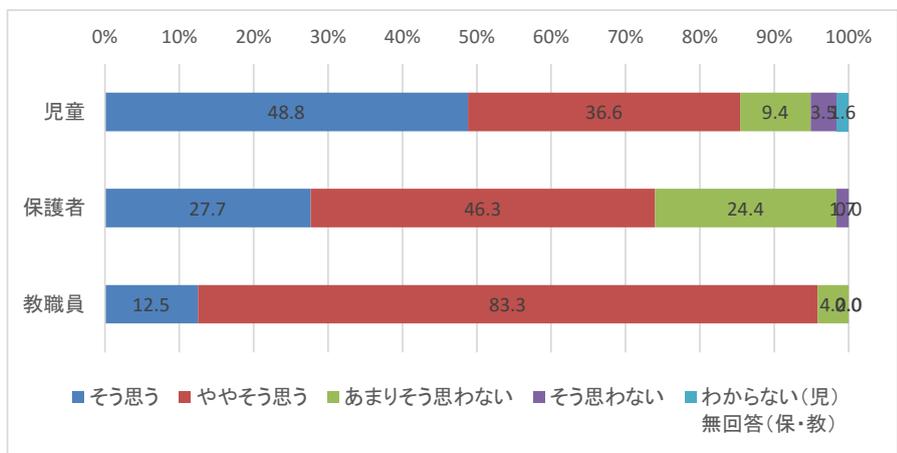
対象	質問事項
児童	友だちと協力して、助け合いながら生活していますか。
保護者	お子さんは、お互いを認め合い、自他を大切にできていると思いますか。
教職員	児童は、お互いを認め合い、自他を大切にできていると思いますか。



児童・保護者の否定的な見方が10%前後に対し、教職員のそれはやや高い様子が見えてくる。十分できているととらえられるが、「認め合い、自他を大切に」という観点から、友だち同士の言葉づかいや日々のいさかいなど、敏感にとらえていきたいと思う。

⑤【やり抜こうとする姿勢】

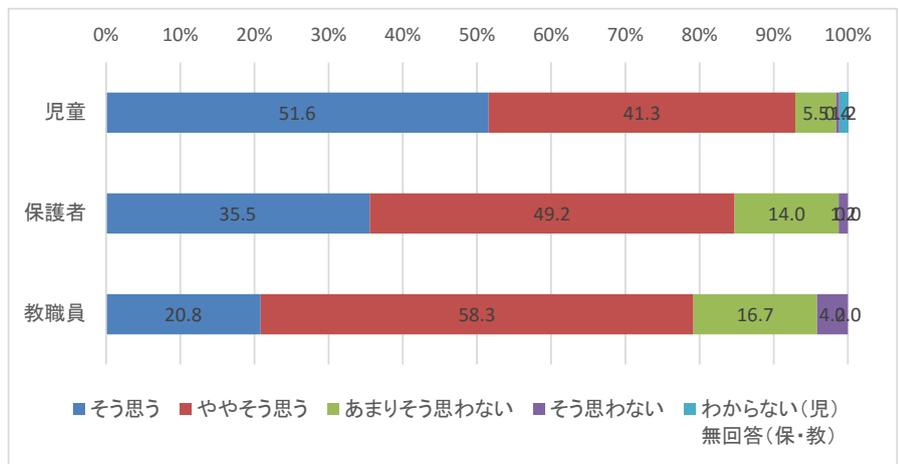
対象	質問事項
児童	どんななこともあきらめずに、最後まで取り組んでいますか。
保護者	お子さんは、何かに取り組むときに、見通しをもって最後までやりぬくことができると思います
教職員	児童は、何かに取り組むときに、見通しをもって最後までやりぬくことができます



教職員のほとんどが肯定的で、児童の否定的な見方が15%程度なのに対し、保護者の否定的な回答が25%となっている。家庭学習や、その他の生活の中で、児童がすぐにあきらめたり、またそのような発言をしたりしているのかもしれない。いつでもどこでも、どんなことでも、最後まであきらめずに取り組める児童を育成したい。

⑥【規範意識】

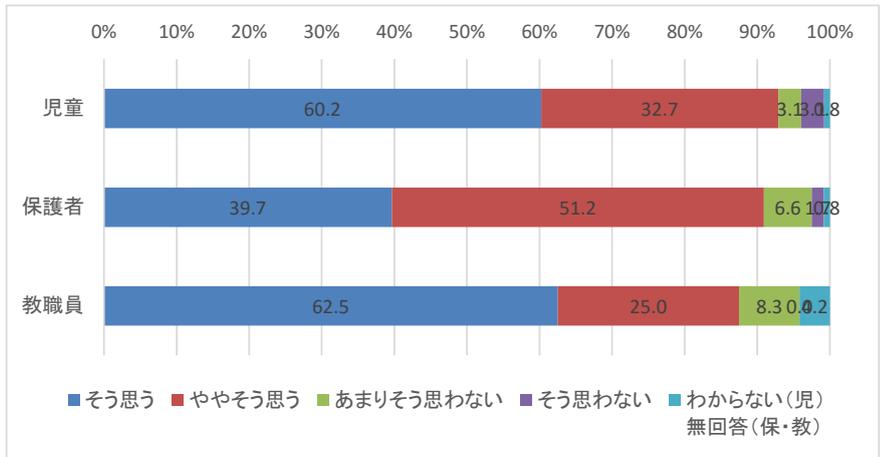
対象	質問事項
児童	きまりや約束を守っていますか。
保護者	お子さんは、きまりや約束等を守っていると思いますか。
教職員	児童は、学校のきまりや約束を守って生活していると思いますか。



児童がほとんど肯定的に感じているのに対し、保護者・教職員とも15%~20%程度の否定的な考えが見られた。児童が、しっかりきまりを守っているとの自信をもっていることから、その思いを大切にしつつ、廊下歩行やチャイム着席等、より細やかな指導をおこなっていきたい。

⑦【授業について】

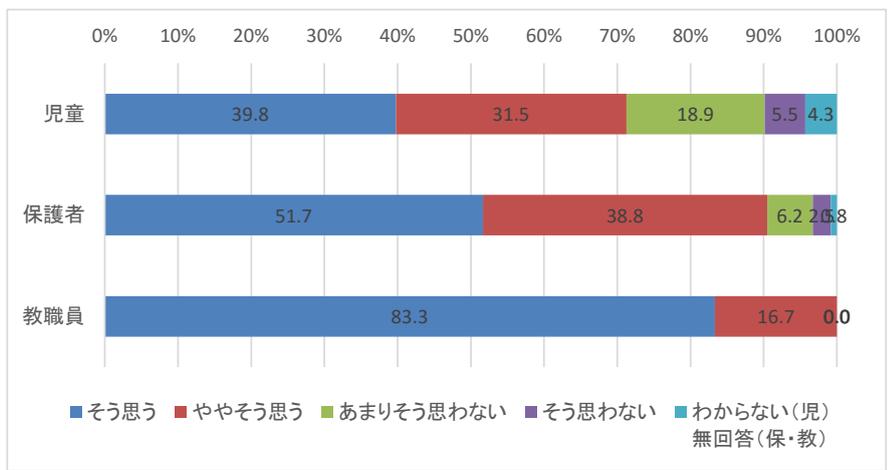
対象	質問事項
児童	授業は、わかりやすいですか。
保護者	教師は、わかりやすい授業をしていると思いますか。
教職員	授業内容を工夫し、児童が理解しやすい授業づくりに努めていますか。



児童・保護者がほとんどわかりやすいと感じているのに対し、教職員の10%強が自信をもてていない結果となった。全ての児童に理解させることができなかつた自責の念ととらえられる。互いの研鑽を深め授業改善をおこない、学び続ける教職員集団をめざしたい。

⑧【児童と教師、家庭と教師の相互理解】

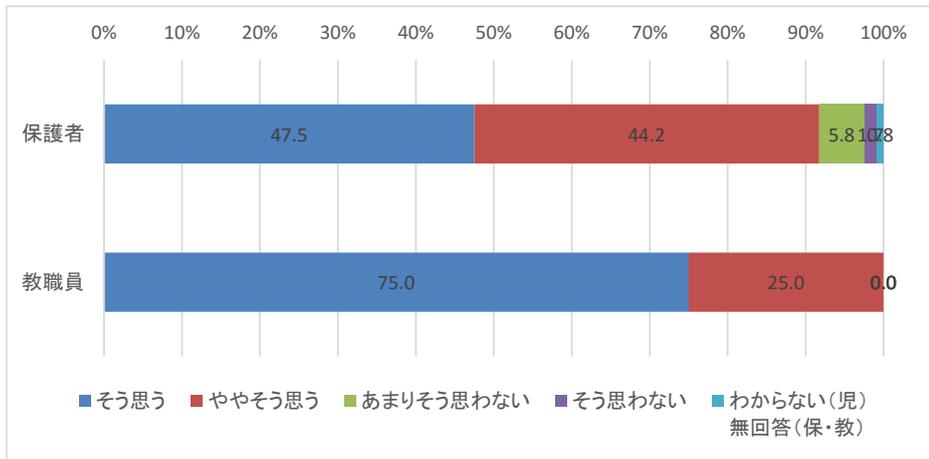
対象	質問事項
児童	なにかあったら、先生に相談することができますか。
保護者	教師は、児童や保護者からの相談に応じていると思いますか。
教職員	児童や保護者からの相談に応じていると思いますか。



教職員が相談に応じている、保護者が学校はおおむね相談に応じているととらえているのに対し、児童の25%が先生に相談することができていないよりの回答を見せた。相談する機会がないのか、事象について自己解決できるという自信があるのか、または教師への信頼の度合いを表しているのかは明確に判断できないが、教師はこの結果を真摯に受け止め、児童に寄り添い、ともに悩み、考える姿勢が必要とされていると、襟を正したい。

⑨【情報公開】

対象	質問事項
児童 保護者	(質問事項なし) 学校は、各種たよりやホームページ等を通して、家庭に学校の情報を伝えられていると思いますか。
教職員	本校は、各種たよりやホームページ等を通して、家庭に学校の情報を積極的に伝えていると思いますか。



1割弱の保護者が否定的にとらえているが、現在、おこなっているホームページの充実、学校だより、校長だより、学級・学年通信等の内容にも工夫を加えながら継続していきたい。